

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

## 2月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数1件、山鹿から40-49歳の報告です。昨年からのほぼ報告「なし」の状態が続いています。

### 小児科定点

（全体傾向）

報告総数1592件（前月比0.53、前年同月比1.18）で前月比では約半数ですが、前年とはほぼ同じ報告数でした。感染性胃腸炎の減少が影響していると思われます。前月比では、RSウイルス感染症の1月の報告数490件が2月は275件と（前月比0.6）に減少していますが、他には大きく増減した疾患はありません。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数275件（前月比0.6、前年同月比0.7）です。昨年4月にピークがあり、その後漸減し12月に355件、1月には490件と増加しましたが、2月は275件と減少しています。水俣45件（定点あたり22.50）、菊池55件（同11.00）に多いようです。県内多くから2桁の報告がある一方で、報告の少ない地区（山鹿、阿蘇、御船、人吉）もあります。2歳までで症例の85.8%を占めていますが、3歳4歳でも2桁の報告があります。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数26件（前月比0.7、前年同月比0.6）です。近年では秋から年末に向け増加し年明けに減少する傾向です。水俣・宇城・天草が共に定点あたり1.0の報告です。年齢は1歳を中心としています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数14件（前月比0.4、前年同月比0.1）で2020年5月以降の低水準が続いています。菊池5件（定点あたり1.0）が目立ちますが、他の地区も数件の報告のみです。年齢は3歳をピークとしています。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数1001件（前月比0.5、前年同月比2.1）と例年同様に減少が始まったと思われます。菊池262件（定点あたり52.40）、有明193件（同38.60）に多いようです。県下ほぼすべての地区から2桁、年齢別でも各年齢層で2桁以上の報告があります。
5. 水痘 : 報告数21件（前月比0.7、前年同月比1.3）と、昨年8月以降は、20件前後の報告が続いています。報告数が少ないながらも目立つのは、天草12件（定点あたり3.00）です。山鹿、阿蘇、御船、水俣、人吉からの報告はありません。水痘の予防接種は、平成26年（2014年）10月に始まっていますので、基本的には、0歳児を除けば、8歳以下は定期接種を受けていると思われるのですが、報告では、1歳～8歳に15件あります。二回接種の確認も必要でしょう。水痘接種率など地区ごとに検証の必要性を感じます。
6. 手足口病 : 報告数25件（前月比0.2、前年同月比0.8）と、昨年9月の1517件をピークとした発生も収まり2022年になり、ほぼ例年と同様になりました。人吉7件（定点あたり2.33）、八代6件（同1.50）、菊池6件（同1.20）にやや多いようです。年齢も1～2歳にピークがあります。
7. 伝染性紅斑 : 報告数4件（前月比2.0、前年同月比0.8）です。2020年5月以降は毎月、1件から12件の報告があります。2月は山鹿・菊池・八代から報告がありました。
8. 突発性発疹 : 報告数85件（前月比0.9、前年同月比0.7）と、例年同様の推移です。特別多い地区はなく、阿蘇を除き県下各地から定点あたり1～2件の報告です。2歳までの報告でした。

9. ヘルパンギーナ : 報告数10件(前月比0.2、前年同月比0.9)で、例年通りの推移です。菊池、八代、宇城、天草から1~4件の報告です。1歳を中心として4歳まで報告があります。
10. 流行性耳下腺炎 : 菊池からの2歳の報告数1件(前月比-、前年同月比0.2)のみでした。

### 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数3(前月比0.1、前年同月比0.3)と減少しています。熊本2件、天草1件の報告です。年齢別では20~29歳、40~49歳、50~59歳に各1件です。

### STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :  
報告数60件(前月比0.8、前年同月比1.0)で、前月比で減少、前年同月比は同数でした。男女別では男性が38件と多く、女性は22件でした。年齢別では男性が20~64歳に、女性は15~44歳にみられています。地区別は熊本が48件、八代が5件、菊池、有明、御船がそれぞれ2件、宇城が1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :  
報告数21件(前月比0.8、前年同月比1.8)で、前月比で減少、前年同月比で倍増近くまで増加しています。男女別では男性が12件、女性が9件でした。年齢別では男女共に20~70歳以上にみられています。地区別は熊本が12件、菊池と宇城が共に3件、八代が2件、御船が1件でした。
3. 尖圭コンジローマ :  
報告数は7件(前月比1.8、前年同月比3.5)で、前月比及び前年同月比は共に増加しています。男女別では男性が6件、女性は1件でした。年齢別では男性が25歳~54歳に、女性は20歳~24歳にみられています。地区別では熊本が6件、菊池が1件でした。
4. 淋菌感染症 :  
報告数は23件(前月比0.7、前年同月比1.9)で、前月比で減少、前年同月比は倍近くに増加しています。男女別では男性が19件、女性は4件でした。年齢別では、男性は15~64歳と幅広い年齢層に、女性は20~29歳にみられています。地区別は熊本が14件で、御船、八代、有明及び宇城がそれぞれ2件で人吉が1件でした。

### 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :  
報告数は13件(前月比:0.5、前年同月比:0.7、男女比:8/5)と減少傾向でした。阿蘇・人吉(各4)、熊本(2)、山鹿・有明・天草(各1)でした。年齢分布としては70歳以上(9)、65-69歳(3)、1-4歳(1)と高齢者に多く認められました。  
▼例年より少なめの報告数でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :  
報告数は1件(前月比:0.2、前年同月比:0.3、男女比:0/1)と減少傾向でした。熊本(1)でした。年齢分布としては1-4歳(1)でした。  
▼例年より少ない報告数でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-、男女比：-/-）で報告はありませんでした。  
▼例年並みの報告数でした。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼例年並みの報告数となっています。

2. 無菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼例年より少ない報告数です。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼例年より少ない報告数です。

4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。  
▼昨年度に引き続き報告がありません。

5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：

報告数は1件（前月比：-、前年同月比：-）とこの時期に散発しています。熊本(1)でした。年齢分布としては0歳(1)でした。

▼冬季の例年並みの報告数です。

## 届け出対象感染症

1類感染症：報告はありませんでした。

2類感染症：結核 16件

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1件

4類感染症：レジオネラ症 3件

5類感染症：後天性免疫不全症候群 2件

梅毒 18件

百日咳 1件

新型インフルエンザ等感染症：

新型コロナウイルス感染症 20,227件